

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	システムソフトウェア構成論		
英文授業科目名	Structure and Implementation of System Software		
開講年度	2006年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	情報システム学研究科-情報システム設計学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	情報システム設計学専攻		
担当教官名	多田 好克		
居室	I S - 6 3 2		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【講義の狙い, 目標】

本講義では、実働している各種ソフトウェアを対象に、その処理系の仕組みやプログラミング技法の解明を行う。対象となるソフトウェアは年度によって変わるが、オペレーティングシステムや言語処理系のような、いわゆるシステムソフトウェアを想定している。

【内容】

今年度は、C言語のコンパイラを対象とする。ただし、コンパイラのソースコードを読むなどと言うことはせず、コンパイラが出力するコンパイル結果をアセンブリ言語で眺め、コンパイラの処理の概要を推察する。なお、対象とする計算機はIBM-PC / Pentium系が中心になるが、適宜、他のCPUなどにも言及する。

【教科書, 参考書】

特になし。(講義中に必要に応じて指示する。)

【予備知識】

特別な予備知識は要求しない。ただし、C言語のプログラムを眺めることになるので、C言語もしくはPascalなどのプログラミング言語の雰囲気分かっている必要はある。プログラミングするわけでは無いので、言語の詳細までを理解している必要はない。

【演習】

なし。

電気通信大学 平成18年度シラバス

【成績評価】

学期末の試験による。基本的には試験だけの一発勝負。ただし、試験の成績の悪い学生に対しては、出席点を加味する。

【その他】

講義中の私語は他人に迷惑をかけるので禁止（即、退場）。飲食は節度があれば可。